

国立病院機構千葉医療センター臨床研修プログラム

施設基本データ

名 称	どくりつ ぎょうせい ほうじん こくりつ びょういん きこう ちばいりょう せんたー
	独立行政法人国立病院機構 千葉医療センター
開設者	独立行政法人国立病院機構
施設管理者	古川 勝規
臨床研修における 施設の種別	基幹型 ・ 協力型
指定年月日	2003 年 11 月 28 日
住 所	〒260-8606
	千葉県千葉市中央区椿森 4-1-2
病床数	410 床
標榜診療科	内科、糖尿病代謝内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、呼吸器外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、頭頸部外科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、歯科口腔外科、麻酔科、病理診断科
電話番号	043-251-5311
F A X 番号	043-255-1675
U R L	https://chiba.hosp.go.jp/

施設の沿革・特徴

沿革

明治 41 年 4 月 1 日千葉衛戍病院として創設
昭和 11 年 10 月 1 日千葉陸軍病院となる
昭和 20 年 12 月 1 日国立千葉病院として発足
平成 16 年 4 月 1 日国立病院機構千葉医療センターとなる

特徴

地域医療支援病院、災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、エイズ拠点病院、救急二次医療機関輪番病院、救急告示病院、千葉市医師会セミオープンシステム、臨床研修指定病院

交通アクセス

路 線	JR 千葉駅	徒歩 約 18 分 (1.4 Km)
		バス 約 10 分 (〈東口 6 番乗場〉千葉内陸バス 西千葉駅行千葉医療センター下車)
	JR 東千葉駅	徒歩 約 8 分 (0.7 Km)
	千葉都市 モノレール 千葉公園駅	徒歩 約 7 分 (0.6 Km)
自家用車等		京葉道路 穴川 IC から 約 8 分 (3.0 Km)

研修プログラム

名称	国立病院機構千葉医療センター 医師臨床研修プログラム	種 別
研修責任者	院 長 古川 勝規	基幹型 協力型
プログラム責任者	教育研修室長 阿部 朝美	

プログラムの理念と概要

【プログラムの特色】

国立病院機構千葉医療センタープログラムは、研修される方が、自由な発想を失うことなく、積極的かつ責任を自覚できる医師になるための基礎作りに役だてるよう企画しました。臨床研修に関する具体的特徴は以下のとおりです。

＊当病院は千葉市の中心に位置し、地域の中核病院として長い歴史と実績をもつ。頻繁に遭遇する疾病はもちろん、年間 4,000 例以上の救急搬送に対応、さらに高度先進医療にも積極的に取り組んでおり、アグレッシブな雰囲気にも研修中に接することができる。

＊各種学会の施設認定を受け（別表）、優秀で個性的な指導医、専門医が多数在籍しており、また、臨床研究部があり、臨床研究面でも積極的に活動している。

＊救急研修 3 か月（12 週）のうち、2 か月（8 週）は千葉医療センター救急部。1 か月（4 週）は千葉医療センター救急部または東千葉メディカルセンター救急科の選択とする。院内で定期的開催されている BLS、ICLS、JMECC 講習会、災害訓練および関連した講義、実習に参加する。

＊1 年次の内科研修期間には内科研修 6 か月（24 週）の研修を行う。消化器内科、循環器内科、呼吸器内科を各 2 か月（8 週）ずつ研修到達目標を達成できるように研修する。

（1 年次の内科研修を 1 か月 2 年次にし、1 年次に選択科とすることが可能）

＊その他の 1 年次の研修は、外科 2 か月（8 週）、小児科 1 か月（4 週）、精神科 1 か月（4 週）とする。外科は千葉医療センターで、小児科は 24 時間体制で小児二次救急を行っている下志津病院か東千葉メディカルセンターで、精神科は下総精神医療センターで研修する。

＊2 年次の産婦人科 1 か月（4 週）は千葉医療センターで、地域医療研修 1 か月（4 週）は匝瑳市民病院、多古中央病院、井上記念病院または柏戸病院（在宅医療研修は匝瑳市民病院）で行う。在宅医療研修は 2 年次の全研修期間で 0.2 週経験する。

＊外来研修 1 か月（4 週）分は、24 週以上の研修を行った後に、各内科、外科、小児科、地域医療研修中にそれぞれ 1 週分ずつ行い、4 週とする。ダブルカウントできるため、研修期間を延長する必要はない。初診患者および慢性疾患の継続診療を含む一般外来を中心した研修を行う。また、他の診療分野と同時に研修を行うことも可能。全研修期間で合計 4 週以上を経験する。

＊1年次の1か月（4週）と2年次の地域医療研修1か月（4週）、産婦人科1か月（4週）、救急研修1か月（4週）の研修以外の残り選択期間については、千葉医療センターの各診療科でプログラムが用意され、また希望者は、千葉東病院、下志津病院、下総精神医療センター、千葉県総合救急災害医療センター、東千葉メディカルセンター、千葉県こども病院、千葉市立海浜病院、での研修も選択できる。研修管理委員会で承諾を得て、実践する。

＊臨床病理カンファレンス（CPC）は当院臨床病理専門医のもとに、院内CPCを年5回定期開催している。他にがんセンターボード、Morbidity&Mortality Conference、指導医による講義、研修医勉強会、縫合実習、超音波検査や腹腔鏡のセミナー、ICLSコースなどを院内で開催している。年2回の院内感染対策講習会、医療安全講習会、医療倫理講習会を開催している。

また、年1回、緩和ケア講習会も開催し、研修医は2年間の間に1回は受講する。

またがん診療患者についてアドバンス・ケア・プランニング（ACP）を行い、診療方針を立案して緩和ケアへ移行や緩和ケアチームと共同して治療にあたることを経験する。

＊千葉大学の協力型臨床研修病院でもあり、1年次4～5名の研修医を受け入れ、基幹型研修医と原則同じ年次プログラムの下で研修している。

＊初期研修後の主な進路は、当院の専門研修プログラム、千葉大学、千葉県内の研修施設、都内の大学などでの専門研修である。

＊専門研修プログラムでは、当院は内科・外科の基幹施設であり、初期研修後、引き続き当院で専門研修に入ることが可能である。また、内科、外科を含めほとんどの科が千葉大学の専門研修プログラムの協力施設となっている。

スケジュール例（1年次、2年次）

内科 6か月		救急 2か月	外科 2か月	小児科 1か月	精神科 1か月
地域 1か月	産婦 1か月	救急 1か月	選択 9か月		

＊救急研修3か月（12週）は、千葉医療センター救急部2か月（8週）、残りの1か月（4週）は千葉医療センター救急部か東千葉メディカルセンターを選択とする。

＊2年次の選択9か月（36週）は、下記から選択する。

千葉医療センター：消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、脳神経内科、血液内科、糖尿病代謝内科、外科、呼吸器外科、乳腺外科、整形外科、泌尿器科、皮膚科、形成外科、産婦人科、精神科、眼科、頭頸部外科・耳鼻咽喉科、脳神経外科、放射線科、麻酔科、病理診断科

千葉東病院	：脳神経内科、腎臓内科、糖尿病内分泌内科、膠原病・アレルギー科 病理診断科
下志津病院	：小児科、小児神経科、アレルギー科、リウマチ科
下総精神医療センター	：精神科
千葉県総合救急災害医療センター	：集中治療科、外傷治療科など
東千葉メディカルセンター	：救急科、循環器内科、脳神経外科、小児科など
千葉県こども病院	：小児外科、耳鼻咽喉科、麻酔科、心臓外科など
千葉市立海浜病院	：新生児科など
国保多古中央病院	：地域医療、在宅診療
国保匝瑳市民病院	：地域医療、在宅診療
柏戸病院	：地域医療
井上記念病院	：地域医療、在宅診療

【研修医評価】

- ・ PG-EPOC を使用する。
- ・ 研修医の評価は指導医、医療スタッフから行い、プログラム責任者も指導医、医療スタッフからの評価を確認し、適時指導を行う。